議事（６）

その他

・熊本県建設業協会

令和８年熊本地震等復旧・復興工事情報連絡会議　地域建設業の現状と課題

一般社団法人　熊本県建設業協会

７月２８日に発生した令和８年熊本地震の発生直後から、八代・宇城等被災地域の建設企業は、道路啓開や段差解消、河川堤防の応急復旧等に対応するとともに、被災地域以外の建設企業も、国・県の依頼に対応し、被災した住家のブルーシート展張作業を行うなど、地域住民の安全・安心を確保するため全力を挙げて取り組んで参りました。今後とも、地域建設業としての使命感を持ち、地域の復旧・復興に取り組んでいく所存です。

過去を振り返ると、平成２８年の熊本地震及び令和２年７月豪雨の際には、国・県・市町村等各発注機関から、一時期に多くの工事が発注されることとなったため、入札不調・不落を防止するとともに、円滑な復旧・復興を行うため各発注機関等を構成員とした「復旧・復興工事情報連絡会議」が設置されました。

今回の熊本地震は、県内の市町村を含む公共土木施設の被害額が 1,567 億円にのぼり、さらに、令和２年７月豪雨及び令和７年８月豪雨の災害復旧工事の発注も続いていることともに、近年の資材価格の高騰など、建設企業の経営環境も厳しさを増していることから、発注機関の全体事業量や発注スケジュールに関する情報共有と事業推進に向けた課題解決が極めて重要です。

これらの課題解決に向け、被災地域の課題と県下共通の課題を取りまとめましたので、各発注機関におかれましては、御高配の上、対応いただきますようお願いします。

１　復旧工事に向けた被災地域の課題等

(1) 宇城支部

・国土交通省においては、総合評価の手持ち工事によるマイナス評価があることから、災害工事の入札に消極的となる企業が出てくる可能性があります。
つきましては、災害工事については手持ち工事のマイナス評価を適用しないなどの検討をお願いいたします。

・災害復旧工事は通常工事に比べて小規模な現場も多く、また施工条件が厳しい場合があります。
つきましては、災害復旧工事に適した小規模歩掛（舗装２０㎡程度など）の設定をお願いいたします。

・一式歩掛に含まれる積算上の材料費（木材、鉄材、コルゲート管（プラ）等）について、実勢価格を下回るケースがあります。
つきましては、一式歩掛について協議により変更できる仕組みの構築をお願いいたします。

(2) 八代支部

・１０年前と比較して、地方の建設業者に勤務する技術者は減少しております。
つきましては、技術者数を勘案し、国、県及び市町村において発注時期を調整のうえ、工事発注を行っていただきたい。
・工事発注までの時間経過による現場状況の変化や、査定時に考慮されていなかった事項（仮設等）により、災害査定の内容と現況が一致しないケースがあります。
つきましては、設計変更について柔軟な対応をお願いいたします。
・熊本県内においては、令和２年７月豪雨による災害復旧工事の発注が完了していない箇所があり、現在も機材調達の難航等による間接工事費の増大や、資材及びダンプカー等の不足による作業効率の低下が生じています。
つきましては、復興係数及び復興歩掛の継続をお願いいたします。

２　県下共通の課題

・今後の本格的な復旧工事において、ダンプカーの確保が必要となることから、復旧・復興工事に支障が生じないよう対策をお願いいたします。
・災害査定ごとの発注では、技術者不足や積算と実費との乖離などの課題が発生する可能性があります。
つきましては、発注ロットの拡大などの対策をお願いいたします。
・現状、市町村において技術者が不足しており、円滑な工事発注や変更契約への対応に課題があります。
つきましては、国、県による技術支援をお願いいたします。